

令和5年度 算数科 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心となる単元、 ◆カリキュラムデザイン	授業改善に向けての具体的な手立て	◎成果 ●課題
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図形の性質、図形を構成する要素などを生かして、目的や場面に応じて作図することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 図形 ○ 3年生 「三角形と角」 ○ 4年生 「垂直、平行と四角形」 	<p>具体物の活用や体験的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図形を観察したり、実際に切り抜いたりする作業的・体験的な活動を通して、図形についての見方や感覚を養い、実感的な理解を深める。 	<p>◎ 図形を観察したり、実際に切り抜いたりする活動を通して、図形の性質を理解して正確に作図できるようになってきた。</p>
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章問題では、目的に応じて図や式を用いて、正確に大きさを比べたり、表現したり整理したりすることに課題がある。 ・ 他者の考えのよさに気付いたり、参考にしたりしながら、自分の考えをよりよくしていこうとする児童は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5年生 「単位量あたりの大きさ」「割合」 ○ 6年生 「拡大図と縮図」 	<p>資料提示</p> <p>数を正しく捉えるために、具体物、図、式、表、グラフと数を相互に関連できるような資料を提示する。</p> <p>発問</p> <p>「どのくらいの大きさになりそうですか?」「どのように式を立てましたか?」「なぜこの答えになりますか?」など、見当を立てたり、思考を促したりする発問をする。</p> <p>他者との関わり</p> <p>伝える視点、聞く視点を児童と共に考えたり、提示したりしながら、他者と考えを伝え合う活動を多く取り入れる。</p>	<p>◎ 具体物を提示したり、図や式、表などのよさを確認したりしたことで、数量を整理して正確に立式できるようになってきた。</p> <p>◎ 日頃から思考を促す発問をしたことで、理由や根拠を意識して説明できるようになってきた。</p> <p>◎ 他者に考えを伝える視点、聞く視点を提示したことで、新しい考えに気付いたり、それを参考にして問題を解決したりする姿が見られた。</p>
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童自身が、どの学習に課題があり、どの学習が定着しているのか、捉えることに課題がある。そのため、自身実態とめあてにずれが生じていたり、自分の学びの姿を振り返ったりすることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学年のまとめ ○ 「3年のふくしゅう」「4年のふくしゅう」「5年のふくしゅう」「算数の学習をしあげよう」 	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の過程や成果に着目して、自身の学びを捉えるために、振り返りの視点を提示する。それに対して、随時フィードバックを行う。 	<p>◎ 提示した振り返りの視点によって、自分の課題を認識できるようになってきた。</p> <p>● 課題と向き合い、振り返りを生かして、ノートを書いたり、練習問題に取り組んだりすることに課題がある。振り返り学習を系統的に取り入れる必要がある。</p>